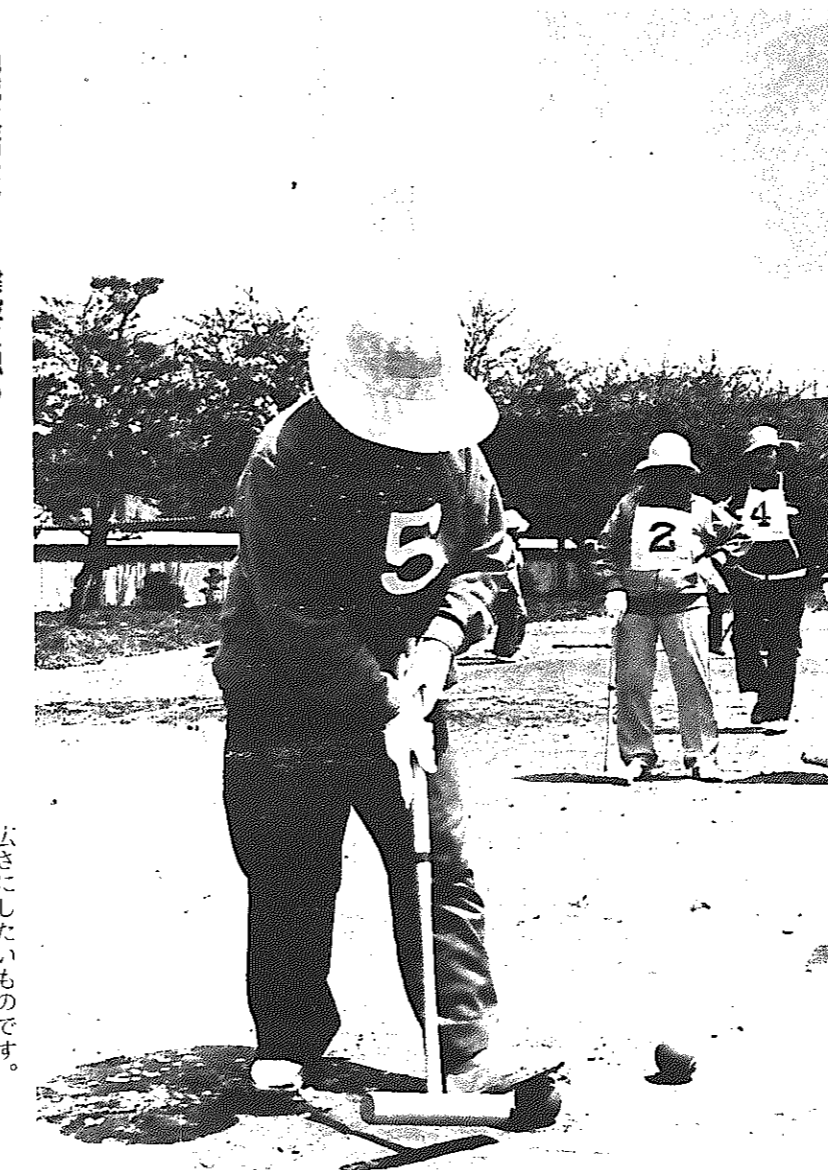


投稿ください。市民の皆さんの意見交換の場がこの市民談話室です。テーマは自由です。あなたの意見を気軽に寄せてください。紙面の都合上、文を短くすることがあります。あて先は、大字白根二三五 白根市役所企画財政課広報広聴係です。

ゲートボールで心と体の健康を

ゲートボール競技は、なかなか難しいものです。まず、全神経をボールとゲートに集中し、スティックでボールを打つのですが、そう簡単には、ゲートを通過してくれない。特に第一ゲートが非常に難関なのです。

老人にはまだまだ早い私ですが、



ごもり、年寄りの毎日はテレビとにらめっこで気がめいってしまいます。私はゲートボールをやることにより軽い運動と精神的解放感を味わい、今、社会問題のひとつとなっている「老人の生きがい」「老人の医療」など、少しでも解消できるのではないかと思います。ただ、残念ながらゲートボールのできる場所がありません。今は青年教育センターを利用して月二回のゲートボールを楽しんでいます。このような場合は居候的身分のようなものです。これから年々

純粋な善意を責めないで

青木きよ子さん（大通二丁目・主婦・58歳）

街にはいろいろな人がいて、いろいろな暮らし方をしています。見ザル、聞カザル、言ワザル。無関心は都会だけでなく、今は田舎でも「隣は何をする人ぞ」の風潮になり、コミュニケーションなんて何のこと？ というギスギスした、そして豊かな時代です。無償の奉仕活動をい縮ませてしまっているのではないかと、一番の有罪判決に批判の強かった「ボランティア裁判」の控訴審での逆転無罪は、純粋な善意が刑事責任に問われたケースといえるだけにホッとしました。

隣人訴訟、そしてマスコミに取り上げられない隣近所とのいざこざ、「何もしなければ何も起きないのに」「小さな親切、大きなお返し」

万一の場合でもお互いに参加した以上は、自分の運命と割り切り、道義的責任とかは、参加者皆さんの連帯責任とし、他人を責めることのないようにしたいものです。

地域生活センター建設に思う

一日も早く建設を

小林善司さん（東笠巻新田・農業・59歳）

待望の地域生活センターが、いよいよ笠巻地区にも建設されることになり、心ひそかに喜んで一人です。市当局や先輩諸氏には心から感謝いたします。

旧鷺巻小学校の跡地に、鉄筋コンクリート二階建てのりっぱなセンターが五十九年度予算で建設される予定です。一階は、管理室、談話コーナー、料理実習室、和室など、二階は大集会室、和室などの間取りです。

きれいな街は一人ひとりのモラルから

三富定栄さん（白井・自営業・66歳）

広さにしたいたいものです。地域住民の憩いの場として、あらゆる団体に心から親しまれるセンターに回収に参加して

きれいな街は一人ひとりのモラルから

市環境衛生協会では、昨年の十月十七日に白根地区周辺の主要道路沿いの空き缶回収を実施しました。

私たちが想像もできないほどの多量の空き缶が、雑草の中、側溝や田んぼの中にまで、いたるところに投げ捨てられ、散乱しているのには驚きました。

どうしてこのように所かまわず投げ捨てるのでしょうか。おそらく無意識のうちに投げ捨てる人はいないと思います。だとするならば、全く常識が無く、交通道德観念の欠けている人たちだろうと思えます。

そこで、このような空き缶公害の防止策もいろいろあると思われ

市民文芸

俳句

陽炎を背中に炎やし草を摘む
晩春や残雪見つめる鎌の友
湯治場の崖にはみでし山桜
芹摘んで香りを籠に持ち帰り
ようやくに桜前線吾が郷に
晩春や農夫の頬の陽焼け顔
足踏みし来たれば早し桜かな

川柳

晩春や肩に重たく鎌一丁
大空をどこまで昇る風織
わらび取り縁を結びて早一年
花冷えやくれない冴える大鳥居
藤揺らぐこの坂道も縁増し

見せかけの外車で苦勞する月賦
整形で人生観を塗りかえる
墓石の家紋に亡父の汗がある
新米のガイドに助言してる客
にわか雨布団が屋根の上に泣く
新築がサラ金だった悲報聞く
見せかけの愛は冴えない虹の彩

短歌

須戸 義夫 助言無視した親不孝墓で詫び
大旗 豊治 手の内は見せない弁護士助言
玉木 長吉 アドバイス受けどん底の石を蹴る
小林キミイ 口の丸に父の指紋が風化する
渡辺 勤 招かざる客に薬車狂わされ
佐藤トミノ アドバイスが効いて十年目に初見
竹石 甚五 予期しないハートへ恋の使者がくる
田村 恒夫 流動食とれて笑顔の快復期
今井 タエ 名も知らぬ人の血潮に生かされて
織田 セツ 今日ある我が身のしあわせ思う
大井 義雄 改修の水路は水を満々と
山岡 フミ 湛えて流る田を植うる日に

後藤まさの 中村 尚治
吉川 末吉
長井 徳市
吉川 彰
高橋祐四雄
今井 七郎
岡村 清
金子ヨシノ
中村 京